



自由民主党議員 北原 ともあき

財政調整基金

23年度予算では、財政調整基金から36億円を繰入れなければ予算を組めない状況である。区の認識は。

一定程度の行政水準の確保や財源不足を補うために財政調整基金の活用を図っており、23年度予算においても繰入れが必要と認識している。

財政調整基金の繰入れを行わずに予算が組めるよ

うになるのはいつか。

現時点では予測がつかない。

土地開発公社

公社が所有する土地等の簿価総額が、標準財政規模に対して、区の計画を上回り0・18となった理由

平成17年度末に策定された第2次健全化対策での指標であり、本町二丁目地等、新たな用地の取得を

想定していなかったためである。

今後、公社が用地の先行取得を行った場合、区の財政運営に与える影響は。

区の財政運営に直接影響はないが、区が買い取る事となつている期間である5年後を見据えた財政運営が必要となると考える。

図書館行政

選書業務の委託化のメリットは何か。

窓口での貸し出し返却レファレンス業務など一

体的に業務が遂行できる点である。

区内にある施設や学校の図書館との連携を図りながら、中野区ゆかりの文化人や作家などの企画展を今後も開催していくべきではないか。

地域の貴重な文献等を収集し、関係施設や団体とも連携しながら、今後も引き続き継続していきたい。

その他の質疑項目

◆学校跡施設の有効活用について



無所属 近藤 さえ子

持続可能な財政運営

23年度予算案は、投資的経費や扶助費が増大している。全庁で事業見直しを行ったが削減効果は低く、開始時に財政面などの検証が必要である。新規事業の(仮称)区民活動センターの運営方法は、職員・民間・運営委員会の3本立てのため、財政効率も低い。この運営方法は適切なのか。

地域住民による運営委員会が地域実情に合わせて柔軟に運営する必要があり、この方法が最も適切である。

子ども医療費は、約10億円に増額している。子どもに健康の自己管理の力を育む必要があるのでは。

小・中学校の授業で、自分の健康は自分で守る指導をしている。

22年度に予算計上された連絡通路整備事業も未執行になっている。このことをどう思うか。

問題と認識している。



無所属 林 まさみ

東中野駅前広場整備

東中野駅前広場は、20年度に予算を計上したが着手に至らず、繰越明許となった。21年度はどうか。

着手できておらず、予算も執行していない。22年度に予算計上された連絡通路整備事業も未執行になっている。このことをどう思うか。

問題と認識している。

計画内容を確認して計上するとともに、予算執行の進行管理を徹底していく。

区民の憩いの場となる駅前広場整備のほが、ただの通路の再整備になっている。区民に説明のないまま、変更されてしまうのか。

交通広場として計画決定されており、憩いの場と

は目的が違うものである。



自由民主党議員 きたごう 秀文

高齢者の見守り

100歳以上の高齢者の孤独死や所在不明などが社会問題となっている。中野区内の孤独死は年間にどのくらいあるのか。また、高齢者の割合はどうか。

1人で亡くなった方の発見件数は、年間約200件ある。このうち、65歳以上は約6割前後である。

孤独死への対応策は。

地域で支援を必要とする方を見守る仕組みとして、地域支えあいネットワークを推進している。この中で、町会・自治会などの地域住民、ボランティア、行政が協力し、支えあう体制を構築していく。

(仮称)区民活動センター

(仮称)南中野区民活動センターは弥生町に移転する計画だが、移転の時期はいつか。また、その際併設される予定の機能は何か。

多目的ホールを持つセンターとして整備するほか、障害児養育施設や障害のある中高生の活動施設を併設し、平成26年度または、27年度に開設する予定である。

区民ホールや養育施設などの開設は、地域の長年の要望である。是非とも実現を願うがどうか。

ご意見に背かないよう、しっかりと進めていく。



無所属 佐藤 ひろこ

中学生への防災教育

全国各自治体や地域消防が、小・中学生を対象に地域防災の担い手を育てようとする取り組みが広がっている。区も推進すべきと考える。区の取り組み状況はどうか。

各学校が実態に合わせて防災教育に関する指導計画を策定し指導している。

取り組みのひとつとして、中学生用の防災ガイドブックを作成し指導してはどうか。

作成について協議している。中学生には、東京都発行の小冊子を利用し防災について考えさせている。



無所属 佐藤 ひろこ

区民活動との連携

支えあい推進、区民活動センターなど、目標達成のために一緒に動く社会福祉協議会ボランティアセンターや町会・自治会との事前協議が大変なしかった。

予算や物事の決定後に伝えるのではなく改善すべきでは。地域支えあい推進室として統合し、より連携を深め、適宜協議を行いたい。

コーディネーターの役割

4年前に始めた障害者



無所属 むつこ 有子

リサイクル展示室の改善

環境・ごみ・リサイクル問題に詳しい区民のノウハウと技術を活用し、粗大ごみの展示と提供に加え、学びと体験ができるようリニューアルしてはどうか。

民間ボランティア等の

防災委員会が、22年度、区の助成と各分野の協力で広がった。コーディネーターの役割が区職員に必要では。団体の公益活動の地域拡大、相互協力ができるよう、コーディネーターの視点を大事に取り組みたい。

活用は考えていない。また、体験学習などの新たな事業はスペース的に難しい。

老朽化が激しく、反射で判読できない黒板の交換、グリーンカーテンによる教室の暗さ対策のための、補

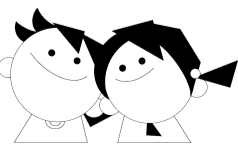
助照明設置を来年度予算に組み込むべきではないか。

学校施設予算の枠内で優先順位をつけて対応しているが、現状を調査し、学校とも協議をしていきたい。

キッズページ

みんなごみてね 「わたしたちの中野区議会」

中野区議会ホームページのキッズページでは、議会のしくみをわかりやすく説明しています。ホームページの「わたしたちの中野区議会」の中に掲載しています。どうぞご利用ください。



中野区議会 ホームページをご利用ください

中野区議会では、いち早く区民のみなさまへ情報をお届けするため、ホームページを開設しています。会議録、委員会資料、議員紹介、区議会からのお知らせなどがご覧いただけます。ぜひご利用ください。

